

## 第5学年 社会科学習指導案

**【本時の主張】**

中越沖地震によるA社の操業停止で、日本自動車全社が生産休止になった理由を考えて説明する授業である。  
 「AならばB、BならばC」と筋道を立てて考えることが苦手な子どもが多い。本授業では、次のような手立てで、筋道を立てて、社会事象の原因を考える子どもを育てる。  
 (1) 筋道を立てて考える必要がある社会事象を扱う。  
 (2) 図を効果的に使って考え、説明する。  
 (3) 説明する型を提示して書かせる場面をつくる。

**1 単元名** 工業生産を支える人々「自動車づくりにはげむ人々」

**2 単元の目標**

- 我が国の工業生産の特色や働く人々の工夫を調べ、多くの工場やたくさんの人々の密接なつながりによって、工業生産が進んでいることを理解する。
- 調べた情報や資料となる図を効果的に使いながら、筋道を立てて考えることができる。

**3 単元の評価規準**

| 社会的事象への<br>関心・意欲・態度                            | 社会的な思考・判断   | 観察・資料活用の<br>技能・表現   | 社会的事象についての<br>知識・理解   |
|--|---|---|---|
| ○ 日本の工業生産について関心をもち、意欲的に調べ、日本の工業の特色を見つけようとしている。 | ○ 写真資料から日本の工業の特色を予想している。<br>○ 多くの工場が密接につながり生産していることを、筋道を立てて考えている。 | ○ 工業生産に関する写真や地図、新聞資料、HPを的確に読み取っている。<br>○ 工場見学を通して、働く人の工夫や努力を整理してまとめている。 | ○ 日本の工業生産の特色や働く人々の工夫や努力が分かる。<br>○ 多くの工場が密接につながって生産していることが分かる。 |

**4 単元と指導の構想**

(1) 単元のとらえについて

① 学習指導要領から

**【学習指導要領】【第5学年】**

2 内容  
 (2) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。  
 ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること。  
 イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など  
 ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働き

3 内容の取り扱い  
 (2) 内容の(2)のウについては、工業の盛んな地域の具体的事例を通して調べることとし、金属工業、機械工業、石油化学工業、食料品工業などの中から1つを取り上げるものとする。

本実践では、2内容の(2)を扱う。

本単元で扱う具体的な工夫や努力としては、ロボット等を使った高度な機械化、生産活動の細分化と分担(流れ作業による生産)、関連工場との密接なつながりなどがある。これらは、日本が世界に誇る優れたシステムである。資料を通して学習するとともに、実際に工場を見学することを通して、これらの仕組みを理解させていく。

関連工場の密接なつながりは、トヨタの「カンバン方式」に代表されるように、在庫を用意しない形式や運輸業の発達に支えられて、より洗練されたシステムとなった。各工場が一つの集合体となり、密接なつながりの中で動いている様子は、一見すると、簡単なことに見える。しかし、優れたシステムであって、人々の日々の努力や協力で支えられていることを、子どもに気付かせていく。

## ② 「中越沖地震によるA社の操業停止」を扱うことについて

関連工場の密接なつながりを学習させる教材として、中越沖地震によるA社の操業停止を取り上げる。新潟県内に工場があるA社は、自動車のエンジンの部品を生産している。高度な技術で作られた製品は他の追随を許さず、圧倒的なシェアを誇る。日本の自動車生産会社をはじめ、海外にも輸出をしている。

2007年7月に起きた中越沖地震により、A社は操業停止となる。一つの部品の生産ストップが日本の自動車工場の80%の操業停止へと広がっていく。なぜ、このような事態になったかを解明することを通して、関連工場や組み立て工場は密接につながっていることを考えさせることができると考えた。各工場がそれぞれ結び付いて、あたかも「一つの工場」のようになっていることに気付かせていく。

さらに、カンバン方式というシステムは、働く人々の絶え間ない協力により維持されていることも、この事例から考えさせていくこともできる。

一つの工場の操業停止が、連鎖反応のように80%の工場休止につながる仕組みを説明するには、学習してきた一つ一つを丁寧につなぎ合わせていくことが求められる。本実践で求めていく「AならばB、BならばC」といった筋道を立てて考えることのできる社会事象であると言える。

## (2) 児童の実態と単元のかかわり

### ① 思考力や判断力について

思考力や判断力を必要とする問題を苦手としている子どもが多い。例えば、農業の学習で、「米の消費量を増やすにはどうしたらいいか」「食料自給率を高めるにはどうしたらいいか」など、今までの学習や経験を基に考える学習では、なかなか自分の意見をもてない子どもが多かった。

食料自給率を高める方法を考える場面では、「輸入を減らす」と考える子どもが多かった。しかし、教師から「肉を食べられなくなるがいいのか」と反論すると、「それはいやだ」と改めて気付く状態だった。次にどうなるかに考えが及ばず、考えが浅いと言える。

そこで、本単元では、「AならばB、BならばC」というように、筋道を立てさせながら考える力を育てることをねらう。

そのために、まずは、既習事項や経験や知識を筋道立てて結び付けていく課題が必要である。この事例として、「A社の操業停止」を扱う。その利点については、(1)(イ)で述べた通りである。

次に、図を使って考えさせる場面を用意する。論理的な構造は文章よりも図の方が分かりやすい。矢印で表すことで、つながりや関係が一目で分かることも多い。そこで、本実践では、組み立て工場と関連工場の図を用いて、筋道立てて考える場面を設定する。自分の考えを友達に説明する際にも、どの部分を話しているかが、図であると分かりやすくなり、筋道を立てて考えることを助けることになる。

### ② 表現力について

「……は何か」など知識や用語を尋ねる問題は得意だが、「どうしてか」などと原因や理由を尋ねる問題を苦手としている子どもが多い。特に、筋道を立てて説明することが苦手な子どもが多い。

これは、次のような原因が予想される。一つは「考え方が身に付いていない。」であり、もう一つは「考えたことを表現する方法を知らない。」である。前者については、前項①で述べたとおりである。後者は、「なぜ」と問われたら、「……から」と答えたり、「どのように」と尋ねられたら、「最初に、次に、最後に」という型で答えてほしいのであるが、どのように表現したらいいの分からないという状況である。このような子どもが多い現状である。

そこで、国語などの他教科での指導も含めて、社会科の授業の中で、課題や発問に応じてどのように答えたらよいかを具体的に指導し、少しずつ表現の型を増やしていこうと考えている。

### ③ 資料活用能力について

調べ活動に進んで取り組む子どもが多い。「地元でつくられる野菜にはどんな物があるか」を学習した際には、スーパーマーケットに出かけて、野菜の表示を調べたり広告から野菜の生産地を調べてきたりした

子どもがいた。進んでこのような取組をする子どもはまだ数名である。

「地図帳クイズ」を社会科の時間の最初に取り組んできた。地図帳を抵抗なく使いこなすことができるようになってきた。学習で地名が出てきた際には、自分から地図帳を広げる子どもになるように指導している。分からない言葉に出会っても、国語辞典を自分から率先して引く子どもは少ない。すぐに引くことを指導している。

#### 4 指導計画

「2 工業生産を支える人々」

第1次 自動車づくりにはげむ人々

第2次 自動車がとどくまで

第3次 これからの自動車づくり

※ 「次」ごとに独立した指導単元と考えて、第1次の指導計画のみを以下に掲載

第1次の指導計画（全10時間 本時10時）※ 本時との関連から第9時を詳しく記述した。

|                  | 指導内容  | □評価規準 ・留意点  |
|------------------|---|---|
| 1<br>2           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 私たちの生活と工業が深いかわりがあることを理解させる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「工業」を辞書で引かせ、意味を確かめる。</li> <li>・身の回りにある工業製品にはどんなものがありますか。</li> <li>・工業製品でないものにはどんなものがありますか。</li> </ul> </li> <li>○ 「○○は工業製品ではありません。なぜなら、……だからです。」工業製品ではない理由を、考えと理由の型に当てはめて説明させる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業製品がないと、私たちの暮らしはどうなるでしょうか。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業と関係ないと考えられるものでも、工業と少なからず関係がある。(トマト→品質管理のPC, 輸送, 冷蔵)</li> <li>・理由の型「なぜなら」を用いながら、筋道を立てて考えさせる。</li> <li>□意欲的に身の回りから工業製品や工業に関係がない物を探そうとしている。【意】(発言, ノート)</li> <li>□身の回りのほとんどの製品は、工業製品であることを理解している。【知】(発言, ノート)</li> </ul>   |
| 3                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自動車工場の写真の読み取りを通して、自動車産業の特色について調べる課題を考えることができる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を見て、分かったこと, 気付いたこと, 思ったことをノートに書かせる。</li> <li>・車をつくるためには、どんな工程があるか。</li> <li>・工場には何人働いているか。</li> <li>・車ができるまでの過程を絵に描かせる。</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>【資料】教科書p61「ロボットが活躍する自動車工場」</li> <li>□自動車工場の写真から、ベルトコンベア方式や機械化など、自動車産業の特色を予想している。【思】(発言, ノート)</li> </ul>  |
| 4                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ベルトコンベア方式の流れ作業で車を作っていることを理解させる。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や資料集で調べさせ、さらに、トヨタや日産などのHPを活用して調べさせる。</li> <li>・調べたことをノートにまとめる際には、要約して大事なところを書かせる。図で書かせるなど、整理して書くなど、まとめ方を指導する。</li> <li>・HPで調べる際には、キーワード検索のやり方を指導する。</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トヨタや日産のHPを使用<br/> <a href="http://www.toyota.co.jp/ip/kids/index.html">http://www.toyota.co.jp/ip/kids/index.html</a><br/> <a href="http://www.nissan.co.jp/INFO/FACTORY/EXPLORE/">http://www.nissan.co.jp/INFO/FACTORY/EXPLORE/</a></li> <li>□資料を使って自動車産業の特色について調べている。<br/>           【技】(発言, ノート)</li> <li>□疑問を進んで考えたり、意欲的に調べ活動に取り組んだりしている。<br/>           【意】(調べている様子, ノート)</li> </ul> |
| 5<br>6<br>7<br>8 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 松山重車両工業の見学を通して、流れ作業や機械化された生産ラインを実際に見て調べる。それにより、次のような効果をねらう。               <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 資料やHPで調べた内容について確認する。</li> <li>□ 自動車工業の特色は、日本の工業の特色であることを確認する。(一般化を図る。)</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・松山重車両工業は、鉄道車両を製造している。組み立て工場であり、流れ作業により車両ができる過程を見学できる。</li> </ul>  |

|    |   |   |
|----|---|---|
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学のめあてをつかませる。(見てくる物、質問内容)</li> <li>・見学の際には、目についたもの、聞いたことをすべてノートに書くように指導する。</li> <li>・工場見学。マナーを守らせる。</li> <li>・見学のまとめをさせる。</li> </ul> <p>○ 重車両工場は組み立て工場であり、それを支える関連工場があることをおさえさせる。</p> <p>○ まとめの中で、次の文章を必ず入れさせる。「日本の工業の特色は、……である。その理由は、……だから。」</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部品は他工場で作って、運ばれることを、工場の方の説明に入れてもらう。</li> </ul> <p>□工場見学を通して、流れ作業や、機械化された生産ラインなどの工夫や働く人の努力を調べている【技】(ノートのまとめ)</p> <p>□日本の工業の特色とその理由をまとめることができる。【知】(ノート)</p>  |
| 9  | <p>○ 中越沖地震で自動車工業の関連工場であるA社の操業停止に伴い、全国の多くの自動車工場の操業が停止した出来事から、関連工場と組み立て工場のつながりを理解させる。</p> <p>① A社操業停止の写真の読み取りをする。</p> <div data-bbox="225 645 632 689" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>誰が何をしていますか。</p> </div> <p>② 新聞の読み取りから、地震により自動車工場が操業停止した事実を押さえさせる。</p> <div data-bbox="225 792 997 869" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>この記事を見て分かったこと、気付いたこと、思ったことを書きなさい。</p> </div> <p>次のことを確認する。</p> <p>□ 自動車全社が生産休止したこと</p> <p>□ 柏崎のA社という会社に関係していること</p> <p>□ A社では、ピストンリングという自動車のエンジン部品をつくっていること</p> <p>③ リード文の情報から、休止した工場のいくつかを地図に整理することを通して、A社の操業停止の影響を考えさせる。柏崎から遠く離れた地域で操業停止になっていることに気付かせる。</p> <div data-bbox="225 1227 1008 1339" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>新潟県中越沖地震の影響で、ホンダ、マツダ、いすゞ自動車などの自動車メーカー六社が十九日、新たに生産休止を決めた。(休止した工場については新聞の本文に提示)</p> </div> <p>・地震の被害があった柏崎から遠い工場が操業停止になった理由を考えさせる。</p> <div data-bbox="225 1518 533 1697" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>地震の被害のあった柏崎と自動車工場はこんなに離れています。それなのに、どうして工場が休止になるのですか。</p> </div> <div data-bbox="576 1384 976 1704" data-label="Image"> </div> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・A社の操業停止に伴い、関連工場の操業が停止してしまった写真だけを提示する。</li> </ul> <p>【資料】2007年7月20日付け「新潟日報」の「自動車全社が生産休止」「柏崎・リケン被災 12社50工場に影響 部品調達の分散課題」という新聞記事の見出しと写真を提示。(記事の詳細は別紙参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の内容が難しいので、次のように配慮した。</li> </ul> <p>① 少しずつ提示する。写真→見出し→リード文→本文</p> <p>② 一斉に読んだり、辞書で意味を確かめたりする。</p> <p>□写真や見出しなどの情報から、情報を取り出すことができる。【技】(発言、ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A社について情報を提供する。</li> <li>・中越沖地震の概要を説明する。</li> <li>・簡単な日本地図(自作)に柏崎と操業停止になった工場の位置を書き込ませる。東海や近畿で操業停止になっている事実を視覚的に確かめることができる。</li> </ul> <p>□被害にあっていないのに、工場が休止した理由を考えることができる。【思】(発言・ノート)</p> |
| 10 | <p>○ A社は休止したすべての工場に部品を提供していない事実から、組み立て工場と関連工場には、密接なつながりがあることを理解させる。</p>   | <p>(本時の計画参照)</p>  |

## 5 本時の計画

### (1) 本時のねらい

A社が部品を提供していない工場も休止している理由を、組み立て工場と関連工場の図で筋道を立てて説明することを通して、各工場が密接につながっていることを理解させる。

### (2) 指導の構想

#### ① 部品提供を受けていない工場が休止した理由は何か？を考える

##### ～(1) 筋道を立てて考える必要がある社会事象の提示～

前時まで、柏崎のA社が操業停止したために、部品提供ができなくなり、関連工場や組み立て工場が休止した事実を押さえている。

しかし、A社は操業停止したすべての工場に部品を提供しているわけではない。この事実を関連工場と組み立て工場の図をもとにして、子どもに伝えることにより、子どもは「部品提供を受けていない工場が、なぜ操業停止したのか」という疑問をもつと考えられる。その理由を考えさせる。

自動車工場が全面的休止なる流れは次の通りである。

- ① 一つの関連工場の停止が、部品を提供している工場の停止につながる。
- ② その工場の停止が次の工場、あるいは、組み立て工場の停止につながる。
- ③ 組み立て工場の停止は、そこに搬入する関連工場の生産をストップさせる。
- ④ 搬入できないために、第2、3次関連工場も生産を停止する。

まるで、連鎖反応が起きるかのように、次々と停止になる。このように、A社の操業停止に伴う自動車工場全体の休止は、「筋道を立てて考える必要がある社会事象」と言える。

#### ② 課題を把握する

##### ～(2) 図を効果的に使って考え、説明する～

自動車工場全体が休止になるしくみを、子どもに気付かせるために、関連工場と組み立て工場の図(右図)を活用する。(右図は、授業者が作成したものである。)

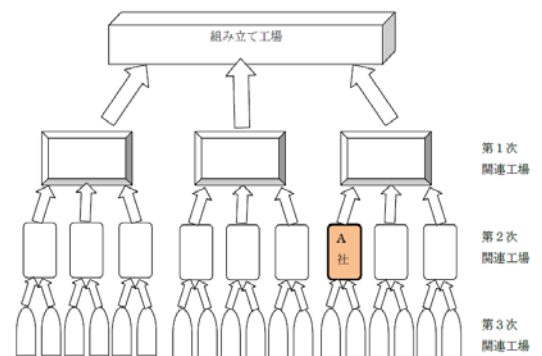
第2次関連工場の1つを仮にA社とする。最初に、A社が地震により休止するので、A社に×がつく。次に、A社が生産している部品でエンジンをつくっている工場が休止になり、そこに×をつける。さらに、その工場の部品で生産している組み立て工場も休止になり、組み立て工場に×をつける。

「休止になった工場はここだけではありません」他のすべての工場にも×をつける。「A社の部品をつくっていない工場でも、休止してしまったのです。」と、子どもに説明する。

ここで、A社に部品提供をしていないのに、どうして工場が休止したのかという疑問が生まれ、学習課題を提示する。

A社の部品を使っていないのに、どうして、これらの工場も休止したのでしょうか。

図を使って情報を整理することで、新たな疑問が生まれることも、「図を効果的に使っている」と言える。



#### ③ 休止になった理由を考える

##### ～(3) 図を効果的に使って考え、説明する～

工場が休止になった理由を考える。子どもは次の既習事項をもとに考える。

- トヨタのジャスト・イン・タイム方式、カンバン方式で多くの工場が、自動車を生産している。
- ジャスト・イン・タイム方式、カンバン方式の概要を把握している。(例：工場は在庫をもたないか、あるいは、ほとんど在庫を用意しない状態で生産を進める。「後工程」の工場が、「前工程」の工場に、部品注文を出して部品を受け取りに行く。など。)
- 工場見学により、工場は原料や部品などの関連工場から搬入を受けている。

子どもは、ジャスト・イン・タイム方式、カンバン方式を理解しているけれども、この方式により、全ての工場が一つの生産ラインのように密接につながりあっているところまで理解していない。

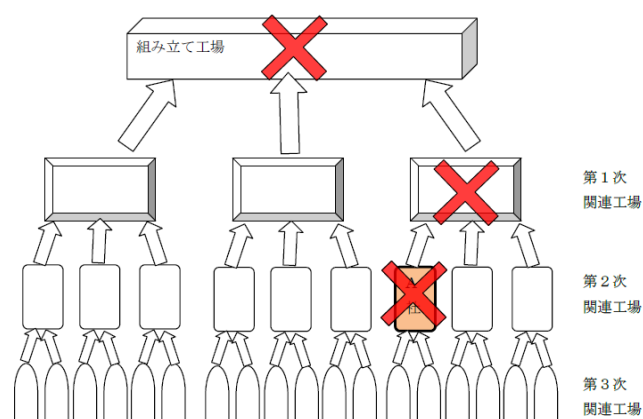
そのような状態の子どもに、ジャスト・イン・タイム方式やカンバン方式の弱点を露呈することとなっ

た事実を考えさせることで、より密接に結びついていることに気付かせていく。

また、これらの生産方式は、一つ一つの分担を確実に果たしてこそ成り立つシステムである。どんな小さな部品を扱う工場であっても、その責任は大きく、働く人々の日々の絶え間ない努力で成り立っていることも考えさせたい。

この際に、関連工場の図を効果的に使用して、休止の理由を考えさせていく。

部品の流れ、つまり、矢印の流れで、工場の生産が休止することは容易に理解できる。しかし、部品の流れ（＝矢印の流れ）と逆向きの工場も休止する理由を考えることは難しい。しかし、二つの工場の間でどんなことが起きているのだろうか？と想像することで、その理由を考える糸口になる。



最初に、第1次関連工場が休止になる理由を

考えさせる。「組み立て工場が休みだから、閉っていて、運ぶ人が入れないから。」「組み立て工場が休みだから、部品を運んでも置くところがないから。」「カンバン方式では、倉庫をもたないから、たくさんつくっても置いておくところがない。」などの理由が出る。

次に、第2次関連工場が休止になる理由を考えさせる。第1次関連工場の理由が分れば、ここは容易に理由を考えることができる。「第1次関連工場が休止だから、閉っていて、運ぶ人が入れないから。」「第1次関連工場が休止だから、たくさんつくっても、部品がたまるばかりだから。」などの意見が出る。

同様に、A社に納入している会社が休止になる理由も考えさせていく。

このようにして、すべての工場が生産休止になった理由を考えさせていく。

説明の際に、スマートボードに投影された図を指し示しながら、あるいは、書き込みながら説明されることも取り入れながら、分かりやすく効果的に説明する方法も学習していく。

本時では扱わない予定だが、工場全体が一つの生産ラインになっている考えは、ジャスト・イン・タイム方式、カンバン方式だけではない。一つの工場が休止すると、他の仕事にも影響が出ると考えられる。例えば、自動車が生産されないわけであるから、その後の車を運ぶ仕事なくなる。車を販売する販売店でも困る。海外に輸出する仕事も滞ることになる。関連工場から関連工場へ部品を運んだり、関連工場に原料を運んだりするトラックの運転手の仕事はなくなる。これらの内容は、この後に学習する運輸の内容と関係がある。これらを関連工場の図に書き込ませると、図の外側に広がる矢印や入り込む矢印をたくさん書くことになる。日本の中心産業である自動車産業では、間接的に様々な産業が関わり合ったり支え合ったりしていることに気付かせることができる。

発展的な内容として、時間に余裕があれば、単元のまとめや家庭学習などで考えさせたい。

#### ④ 学習内容をまとめる ～説明する型を提示して書かせる～

本時では、型を提示して、学習のまとめを書かせる。型の続きは、感想などを自由に書かせる。

一つの工場が止まると、全部の自動車工場が止まってしまう。  
それは（ ）からだ。

型を示すことで、次のような効果をねらっている。

- ・子どもの考えや気づきを焦点化させ、ねらい達成を明確にする。
- ・子どもの文が、焦点化されていることにより、教師の評価も短い時間で素早くできる。
- ・表現（話し方、書き方）の型を身に付けることは、筋道を立てて考えやすくなる。
- ・表現の仕方を学習することで、文章の書き方を覚える。

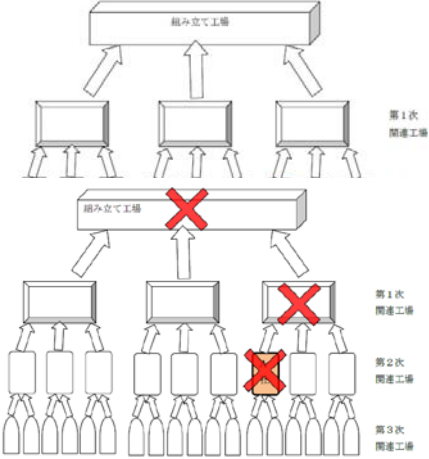
型をいくつか習得することで、型を提示されなくても、書ける子どもを育てる。

上記囲み内の空欄には、「工場どうしがつながっている」「工場が結んでいる」などの文が入ればよい。

(例) 一つの工場が止まると、全部の自動車工場が止まってしまう。それは全部がつながっているからだ。

日本の自動車産業は、どの工場も協力して自動車をつくっている。

(3) 展開

| 学習活動   | 教師の働き掛けと予想される児童の反応 (○発問指示 ◆児童の意見)  | □評価規準・指導上の留意点   |
|--|--|---|
| <p>1 課題をつかむ (10分)</p>                        | <p>・関連工場の図を使って、前時の復習を行う。</p> <p>○ A社の工場をここ(第2次関連工場)とします。</p>  <p>○ ここが休止するとここも休止します。(図に×を付ける。)</p> <p>○ 組み立て工場も休止します。(図に×をつける。)</p> <p>○ 組み立て工場に出荷している、この工場も休止になりました。</p> <p>○ そして、すべて休止になりました。(すべての工場に×を付ける。)</p>   | <p>【資料】関連工場の図 教科書 p.73 の図を修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンとプロジェクターで図を投影しながら説明する。</li> <li>・前時までの学習内容を関連工場の図で当てはめてみる。</li> <li>・A社の部品が生産されないから、エンジンが作れない。さらに、エンジンができないから、組み立て工場も車を作れないところまでは、前時までの復習となる。</li> <li>・エンジン以外の他工程の関連工場も休止となる。また、A社に部品を納品する工場も休止となる。</li> </ul>  |
| <p>2 関連工場や組み立て工場が密接につながっていることを理解する。(20分)</p> | <p>○ A社の部品を使っていないのに、どうして、これらの工場も休止したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えをノートに書かせる。</li> <li>・発表させる。</li> <li>・&lt;第1次関連工場が休止になる理由&gt;</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 組み立て工場が休みだから、閉っていて、運ぶ人が入れないから。</li> <li>◆ 組み立て工場が休みだから、注文で出てこないから。</li> <li>◆ 組み立て工場が休みだから、部品を運んでも置くところがないから。</li> <li>◆ 組み立て工場に運べないから、部品がたまるばかりだから。</li> <li>◆ カンバン方式では、倉庫をもたないから、たくさん作っても置いておくところがない。</li> <li>◆ カンバン方式では、作って貯めておくことができないから。</li> </ul> <p>&lt;第2次(第3次)関連工場が休止になる理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 第1次関連工場が休止だから、閉まっていて、運ぶ人が入れないから。</li> <li>◆ 第1次関連工場が休止だから、たくさん作っても、部品がたまるばかりだから。</li> </ul> <p>&lt;A社に納入している会社が休止になる理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ A社が休止だから、修理をしているから部品を運べない。</li> <li>◆ A社が休止だから、たくさん作っても、部品がたまるばかりだから。</li> <li>◆ 部品を運ぶよりも、工場を直すことの方が大事だ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次関連工場が休止になる理由から考える。</li> <li>・悩んでいる子どもには第1次関連工場から考えるように勧める。</li> <li>・第1次関連工場休止の理由が分かれば、第2次関連工場休止の理由は容易に理解できると考えられる。</li> <li>・同様の理由で、A社に納入している工場が休止になる理由も考えらる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>■工場が休止した理由を、筋道を立てて説明できる。【思】(発言・ノート)</p> </div> |

